



【重点教育目標】

ふれあい



学びと社会とのつながりを実感し、
笑顔と活力で能動的に学び続ける子供の育成

『人間&AI(人工知能)』の時代を生き抜くために

校長 小野 直久

6月になり、学校花壇のラベンダーが咲き始めるなど、初夏の到来を感じる季節となりました。6月11日・12日には5年生の「宿泊研修」、6月27日・28日には6年生の「修学旅行」を実施しました。**自分と社会とのつながりに気付く力**を身に付けるため、宿泊的行事をはじめとする様々な体験や見学等を通して、動植物や自然、施設、食べ物、働く人々などについて、「**なぜだろう？・どうしてだろう？**」という**疑問**を学びにつなげてほしいと思います。

対人関係能力を身に付けるために

アメリカの未来学者レイ氏は、2030年(**6年後**)にはAI(人工知能)が人間の知能と並び、2045年(**21年後**)には、AIが人間を超えると述べています。また、イギリスのマイケル教授は、2050年(**26年後**)までに、AIによって、現在ある仕事の47%が失われるという論文を発表しました。さらに、マイケル教授は、AIの発展などにより、対人関係能力・創造力・学習力などの新しいスキルがこれからの社会で必要とされると述べています。

対人関係能力とは、①他者との関わりの中で円滑なコミュニケーションを取る能力、②自身の考えや感情を理解し、相手の言葉や状況を察知・共感しながら、好意的に相手と接する能力のことです。子供たちが日常の集団生活を築く上で、非常に重要な要素となる力です。対人関係能力が高い人は、他者の意見や感情を尊重し、適切なフィードバックを与えることができると言われています。

この対人関係能力に大きな影響を与えているのがセルフコントロールです。セルフコントロールとは、周囲で起こる物事や自身を取り巻く環境に左右されずに、目標や物事の達成に向かって進んでいけるように自分をコントロールすることです。これができていない場合には、身の回りで生じた変化や自分の感情などに左右された言葉を発したり行動をとったりしてしまいます。

学校だより5月号でお伝えした「子供たちの言葉の乱れ」の他にも、セルフコントロールが上手にできていないと思われる様子が見られます。セルフコントロールは一朝一夕にはできることはありません。しかし、日常生活の中で、次の点に気を付けて生活することで、少しずつでもコントロールすることができるようになりますと言われています。ご家庭におかれましても、ぜひ話題にいただければ幸いです。

①「If-Then(イフ-ゼン)」ルールを使う

- ・もし(If)、自分が■■の精神状況になったら、それに応じて(then)●●という行動をする、といった自分の条件付き行動計画を決める。

②誘惑をそばに置かない

- ・自分にとって誘惑となるものを避けたり、そばに置かないようにしたりする。

③ショートステップの目標を立てる

- ・短期間(時間や一日ごと)の目標や約束・ルールを決めて見える場所に貼っておく。

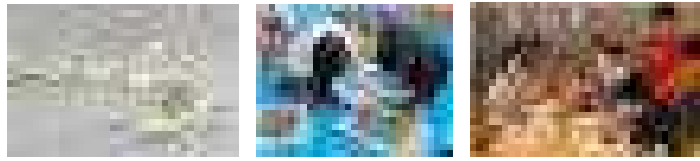
遠足(6月5日)1~4年生

雨天延期を経て、遠足を実施しました。1年生は春光園、2年生は末広中央公園、3年生は春光台公園、4年生は鷹の巣公園に出掛けました。学年や学級で一緒に遊んだり、お弁当やおやつを食べたりして、それぞれに楽しい一日を過ごすことができました。

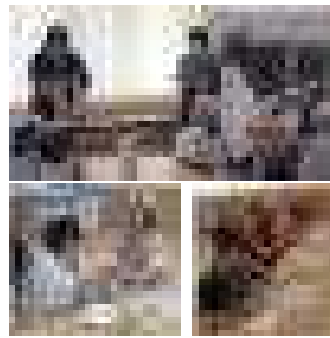


宿泊研修(6月11日~12日)5年生

深川市と滝川市において、1泊2日の宿泊研修を実施しました。屋外ではカヌーやウォークラリー、屋内ではスポーツや製作などの活動を行いました。学年として初となる宿泊も含め、様々な体験を通して、日常の学校生活ではできない学びを得ることができました。



メグミルク食育事業(5月31日)4年生



今年もメグミルクの方を講師に、牛乳をテーマにした食育を行いました。牛乳の作られ方や栄養などを学んだ後、グループに分かれてバター作りに取り組み、工程の途中で出てくるバターミルクと出来たてのバターを味わいました。子供たちの一番人気は、少量の塩を混ぜたバターでした。

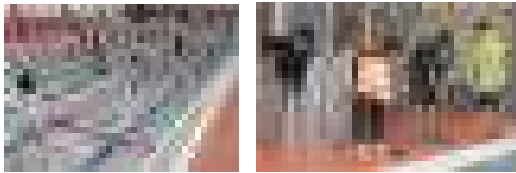
私の未来プロジェクト(6月3日)5年生

今年も助産師さんを講師に、5年生を対象に生命の教育を行いました。お母さんの体の中で生命が生まれ育つ様子や、赤ちゃん自身のもつすごさなどを通して、「自分も友達もかけがえない存在であり、お互いを大切にしてほしい」というメッセージを伝えていただきました。



プール清掃(5月31日)6年生

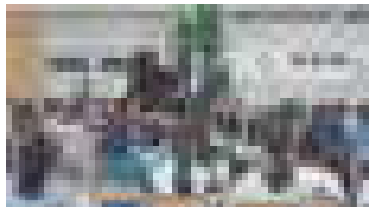
プール学習に向けて、6年1組の児童がプール清掃を行いました。20個以上の足場台の運搬、更衣室やトイレの清掃、プール内とサイドの床磨きなどに献身的に取り組む姿が見られました。全ての準備が整い、今週からプール学習が始まっています。9月には、2組が片付け作業を行う予定です。



豊島雄一スクールコンサート(6月4日)全校

豊島さんは、世界で活躍するバリトン歌手で、「生きる力を伝えたい」と、22年前から出身地である旭川市の小中学校でコンサートを行っています。今回は、トークを交えながら6曲を歌っていただきました。以下は、子供たちの感想です。

「(歌声の大きさに)びっくりした」「マイクを隠し持っているのかと思った」「手品のように大きなきれいな声だった」「音楽ってすごい」「お話を聞いて、自分も夢中になれることを探してみようと思った」「左目が見えないことを言い訳にせず、諦めないで努力し、世界で活躍する歌手になったことに感動した」



今、学校では...

以下は、以前読んだ本に書かれていた内容です。

「近代の学校は、日常生活や地域社会の中では教えられないことを学ぶだけのところだったが、学校での教育が非常に効率的だったため、子供にとって大切なことは何でも学校で教えるようになり、学校の機能がどんどん肥大化していった。逆に、日常生活や地域社会の教育力が落ち、マナーや道徳やコミュニケーションのとり方から、〇〇教育など、あらゆることを学校に押し付ける学校依存社会になってしまった。その末路が、教員の長時間労働であり、その結果としての教員不足であり、子供にとっては長すぎる拘束時間と、その結果としての放課後の消滅である。」

現在の末広小では、児童の在校中、教員はトラブルやケガなどの心配と責任から子供のそばを離れられずにいます。特に、相手が嫌な思いをしたら「いじめ」として対処することが求められているため、放課後も対応(記録、会議、報告、保護者への連絡等)に追われる日々です。さらに、在校時間外の遊び方や過ごし方等に係る連絡への対応など、休憩時間・退勤時刻が保障されていない状況です。文科省や教育委員会が、「教員が人間性や創造性を高めて効果的な教育活動を行うことができるようにする」という目的のもと、「働き方改革」の推進を呼び掛けています。教育活動の質の向上と学校における働き方改革を一体的に推進するには、各学校と保護者・地域の方々から協力しながら実行していくことが不可欠です。このことから末広小では、目的と実態に適合した働き方改革の具体案を考え、取り組んでいきます。どうかご理解をお願いいたします。

7月 【生活目標】校舎に感謝の心をもとう
【給食目標】夏の生活について知ろう
【保健目標】夏を健康に過ごそう

- 1日(月) 全校朝会
- 2日(火) 個人懇談①
- 3日(水) 個人懇談② 租税教室(6年)
- 4日(木) 個人懇談③
- 5日(金) 個人懇談④
- 8日(月) 個人懇談⑤
- 9日(火) 個人懇談⑥
- 10日(水) 個人懇談⑦
- 11日(木) クラブ
- 12日(金) 諸費納入期限日
- 14日(日) ノーメディアデー
- 18日(木) 夏休み図書貸出(低学年)、児童会
- 19日(金) 夏休み図書貸出(中学年)、スクールカウンセラー来校
- 22日(月) 夏休み図書貸出(高学年)
- 23日(火) 1学期終業式(全校4時間)
- 24日(水) 夏季休業(~8/25)